青森民医連医師医学生課発行　-医師を目指す高校生のための医系情報マガジン-　vol.78

8月号

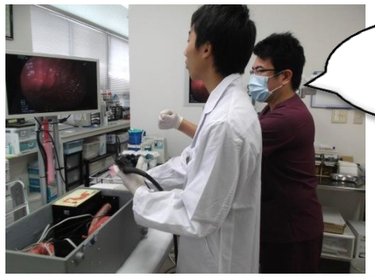
Road to Doctor

みなさんこんにちは！　今回は7月～8月にかけて青森民医連で行った高校生１日医師体験の様子を紹介します。夏の青森民医連の医師体験は青森地区はあおもり協立病院、中部クリニック、津軽地区は健生病院、藤代健生病院、黒石診療所、八戸地区は生協診療所と八戸市民病院で行いました。参加したみなさんにとって、医師の仕事の具体的なイメージを持っていただけたら幸いです。また、以前参加していただいた読者の方たちもこの体験を思い出していただけたらと思います。

また、毎回好評のドクター磯島の質問返答コーナーでは磯島先生が医師像について独自の視点で語っています。読者の皆さんにとってその考え方も一つ参考にしていただけたらと思います。

2016年度夏　高校生１日医師体験　特集

青森地区



医師体験の感想

・内視鏡が出来たり、三上Ｄｒからのメッセージをもらうなど本当に良い経験だった。
・カテーテルを実際に触ることができたし実際のチーム医療の現場を見れて良かった！
・テレビでしか見たことがなかったエコーを実際にみることができた。磯島Ｄｒとの懇談でも医師の現状を知ることができて良かった！

8月5日　あおもり協立病院初回体験

8月4日　カテーテル体験

8月3日　内視鏡+往診など

Road to Doctor　7月号の感想

・模試の結果が上がらず焦るときもありますが、佐藤史絵先生が言っていた「受験時よりも大学に入ってからの方が勉強している」という言葉をいつも思い出し、この夏の勉強を頑張っています。　匿名
・磯島先生の「明日の自分はまたちょっと成長しよう」と言う言葉が心に深く響いた。ＰＮ　おはよーこ
・本紙を見て、女性医師にしかできないことや、今日より明日、明日より明後日と成長していけば良いのだと分かり、医師になりたいという気持ちが大きくなった。　ＰＮ　ｅｓｐｏｉｒ１２２

不定期連載　ドクター磯島の質問返答コーナー

「医師になんでも聞いちゃえ」　～医師になるために必要な事～

Q. 磯島医師に医師になるために一番必要なことと、その獲得のために今できることを教えていただきたいです。

A. 形だけ「医師になる」というのであれば一番必要なことは決まってます、学力ＵＰして医学部に合格することです！
質問者にとって「いやいや、そういう意味じゃなくて」というのであれば、たぶんあなたの心の中に、なりたい医師像、っていうのがあるのではないでしょうか？今はまだぼんやりとした小さいイメージかもしれませんが、その小さな火種を、大きく大きくしていくこと。それがあなたが医師になるために一番必要なことだと思います。

嫌いな医者になった

僕個人の場合で言えば、あくまで個人的な考えになるのですが。正直に言うと、僕は医者っていう職業が嫌いです。だって、病気になって困っている人がいてはじめて仕事になるんですよ。そんな困っている人を食い物にする職業なんて、医者と金貸しくらいじゃないですか。それでいて偉そうにして、有り難がられるなんて、おかしいんじゃないかって思うんです。世の中に病気というものが全く無くて、みんなが平等におなじように寿命を迎えられる、そんな世の中だったら医者なんか必要ないですよ。だから僕はこの職業が嫌いなんです。決して幸せをうむことはできない、せいぜい不幸をやわらげるくらいしかできないこの職業が。（例外として、診療科の中では産科が大好きで、まぶしく見えます。唯一人口をプラスにできて、幸せのお手伝いができる科ですから）

磯島寿人医師
青森高校卒～東京大学卒～弘前大学医学部卒
あおもり協立病院医師

患者から求められる医師になる

でも、それでも病気になってしまう人は現実にはいるわけで。せめて少しでもそういう苦しみを減らしてあげたいと思うわけです。だから根本的に、医療ってだれのものか？って考えると、やっぱり患者のものなんじゃないかな、って思うのです。「医師が患者に与える」ものではなく、「患者が得ることができる、その過程に医師が介在するに過ぎない」って。だから、患者がいるこの社会そのものに目を向けて、そのなかで求められること、必要なことを、そういう声に耳を傾けて医師としての自分、を作り上げていこうと日々頑張ってるつもりです。よく「何科のお医者さんになるんですか？」と聞かれますが、そのときは必ず「何科のお医者さんになってほしいですかね？」と答えてます。

長くなりましたが、ここまでが僕の話。考え方は人それぞれです。みなさんも自分なりの医師像ってものを今から考えてみてください。そうやって構築された、自分の信念、みたいなものが医者をやるうえで、もしくはこれからの人生を過ごすうえで、一番必要なことだと僕は思います。

民医連 青森民医連奨学金制度

青森民医連には「医学生奨学金制度」と「高卒生奨学金制度」の2つの奨学金制度があります。

●医学生奨学金制度（右表上）は、日本全国の医学部（医学科）に在籍する医学生が対象です。返還義務がありますが、卒業後一定期間、青森民医連加盟の医療機関に勤務してもらうことで返還が免除されます。

●高卒生奨学金制度（右表下）は、高校卒業後、医学部（医学科）への合格に向けて勉強している30歳までの方が対象です。貸与期間は3年まで。返還義務がありますが、医学部（医学科）合格後、医学生奨学金制度に移行し、青森民医連加盟の医療機関に勤務すると返還が免除されます。

どちらも時期・学年を問わず随時募集しています。詳細は、下記連絡先まで気軽にお問い合わせください。

◆医学生奨学金制度

	特別奨学金	一般奨学金
入学金貸与	あり（1年次のみ）	なし
奨学金貸与額	20万円以内／月	10万円以内／月
定員	各学年5名	なし
返還免除の条件	卒業時に返還義務が生じますが青森民医連に勤務すると返還が免除されます	
	貸与期間の1.5倍	貸与期間の1.0倍

◆高卒生奨学金制度

	コース①	コース②
貸与額	10万円／月	20万円／月

青森民医連での各種企画の報告はホームページに詳しく掲載しております。
奨学金制度のお問合わせや病院実習のお申し込みは、
ホームページ内『お問合せ』メールフォームよりご連絡ください。

青森民医連　検索

「青森民医連」で検索！

青森県民主医療機関連合会 医師医学生課（青森民医連 弘前事務所）
〒036-8203 弘前市本町95丸ニビル1Ｆ　【9:00～17:00】
お問い合わせメールアドレス：aomin-igakusei@kensei-hp.com
0172-34-5455
http://www.kensei-hp.com

青森民医連「夏の高校生1日医師体験」参加者58人のみなさんお疲れ様でした

津軽地区の医師体験は健生病院と精神科の藤代健生病院、健生黒石診療所で行いました。8月2日の健生病院ではＥＲと産婦人科を見学し、命の重さを感じた後、気管挿管を行いました。7月30日の健生病院ではリピーター向けに手術体験も行い、豚足を電気メスで解剖しました。
藤代健生病院(精神科)では患者さんと一緒にスポーツや習字を体験。黒石診療所では患者さんの家に訪問し往診体験をしました。

八戸地区の医師体験は7月26日と8月9日に行いました。7月26日は八戸市民病院見学～血圧測定～往診体験などをやりました。8月9日は聴診器体験～診察見学～エコー・心電図体験などを行いました。
また8月17日には医学生と高校生のしゃべり場を行い、医学生が高校時代の話をして盛り上がりました。

津軽地区

医療体験＋手術体験 ＠健生病院

気管挿管は力が必要です。by後藤研修医

豚足を解剖します

八つ裂きにした鶏肉をステープラで閉じてみましょう！(兼田医師)

私は４回浪人しました

健生病院は津軽圏域で一番救急車がきます。

精神科体験～ ＠藤代健生病院

精神科は診断が難しいです(小鹿医師・八高卒)

ここは閉鎖病棟の個室です。

往診体験～ ＠黒石診療所

往診、がんばるぞ(坂戸医師)

往診、がんばるぞ(長谷川医師・聖愛高校卒)

医師体験の感想

・手術体験では豚足を切るのが楽しかった。外科も以前から興味があったが、今回の体験でさらに興味がわき、医師になれるよう努力したいと思った！
・精神科はメディアから受け取る情報がすべてではないと改めて分かった。偏見の目で見るのではなく本質をみることが大切だと思いました。
・往診に行って地域医療への想いも以前に比べて強くなった。将来のビジョンをもう一度考え、改めてみるきっかけになった。

7/30　健生病院　手術体験

8/2　健生病院

8月2日　藤代健生病院

八戸地区

市民病院見学～往診体験 ＠八戸医療生協

ドクターヘリだ！

本物の臓器を検査します

リハビリは大事ですよ(研修医2年目・松崎)

血圧を測ってみましょう！！！

医師体験の感想

・普段学ぶことができない体験をすることができ「医師になりたい」という気持ちが確固たるものとなった。直接的に医療の現場に出向いたら発見できることがあった。
・社会に必要とされる人間性や人間力を身につけたいと思った。
・ドクターヘリの要請が出てから短時間で準備して出動するところはとてもかっこよかった。
・実際に患者さんと研修医の方が会話したり診察したりするのをマジかで見て受け答えの仕方や話し方を学びました。初めて会う人に信頼され何でも話してもらえるような人になるためにこれからコミュニケーション能力をつけていきたいです。
・往診を見学した時に患者さんと話す医師がかっこいいと思いました。

地域医療を知る診療所体験 ＠八戸生協診療所

※診察体験での模擬診察の見学

周りの人で体調が悪い人はいませんか？　飯田研修医(東奥義塾卒)

診療所でのエコー体験

エコーで内部が分かります。

7/26八戸医療生協

8/9八戸生協診療所

8．17医学生とのしゃべり場

8月17日、八戸医療生協本部で八戸地域の地区の高校生を対象に「医学生と高校生のしゃべり場」を行いました。
しゃべり場ではじめに、同法人の獅子内和子介護部長から八戸市の高齢者医療の現状と問題点を語ってもらいました。その後、現役の医学生から高校時代や浪人時代の話、高校と大学生活の違い。勉強方法などを聞いていました。

青森民医連での各種企画の報告はホームページに詳しく掲載しております。
奨学金制度のお問合わせや病院実習のお申し込みは、
ホームページ内『お問合せ』メールフォームよりご連絡ください。

青森民医連　検索

「青森民医連」で検索!

青森県民主医療機関連合会 医師医学生課 (青森民医連 弘前事務所)
〒036-8203 弘前市本町95丸ニビル1F　【9:00～17:00】
お問い合わせメールアドレス：aomin-igakusei@kensei-hp.com
0172-34-5455
http://www.kensei-hp.com